

(1) 2011 年度活動報告

I 活動報告

<2011 年度 消費者ネットワークわかやま活動内容>

1. 会員を増やす取組みについては、1年目の活動として、準備会の参加団体や関連の方を中心に働きかけをすすめました。さらに様々なとりくみを通して活動の基盤としての新規会員の働きかけを進めていく必要があります。
個人会員 254 人 620 口、団体会員 10 団体 365 口となっています。それぞれの構成団体や個人及びつながりのある組織などに、加入の呼びかけをすすめました。
2. 被害情報や活動内容などの情報提供を会員へ行うためにメールマガジンを 5 回発行しました。さらに理解を広め、啓発や学習資料として会報の発行を検討していきます。
3. 消費者啓発に向けた学習会を実施しました。
 - ①会員に消費者問題学習会などの企画として、設立総会の記念講演として、「消費者行政と市民ネットワークについて」と題して、消費者庁地方協力課 林課長をお迎えし、学習をおこないました。
 - ②消費者啓発講座を橋本から新宮まで 6 会場で開催しました。
4. 消費者行政のヒアリング調査を引続き行い、県内全市に訪問し状況把握をすすめました。
調査内容をまとめて、大阪で開催された第 2 回近畿ブロック地方消費者グループフォーラムにおいて壁新聞の掲示による紹介や分科会での発表をおこないました。
5. 世話人会を 9 回開催し、活動内容の具体化について話し合いました。

II 2011年度主な活動記録

(1) 和歌山県下で消費者啓発講座を6回開催しました。



2011.9.16 岩出会場
(コープ岩出中央店 会議室)

実際にこの地域で起こった事例などを取り上げて説明してくれたのでとても勉強になりました。



2011.10.14 和歌山会場
(中央医療生協 5F会議室)

とっても勉強になり、友達や近所の方にも教えてあげられます。

消費者被害にあわないために



県内各地で消費者ネットワークわかやま主催の啓発講座を開催しました。橋本市～新宮市まで幅広く活動を繰り広げることができました。

～内容～

- ・最近の事例、契約とは・・・、クーリングオフについてなどを学びました。

すごく理解できました。もっと多くの方に聞いてもらえれば被害も拡大しないのではないかと感じました。

関心、興味のある内容でわかりやすくてよかった。

1人暮らしの高齢者が近所でも増えてきているので心配です。今日、学んだ事を教えてあげます。



2011.11.24 田辺会場
(田辺市労働者福祉センター)



2012.1.25 橋本会場
(高野口地区公民館)



2012.3.9 新宮会場
(近畿労働金庫新宮支店3F会議室)

◆ 2011年度の消費者講座の概要

テーマ: 消費者被害にあわない為に

会場: 和歌山市(2会場)、橋本市、岩出市、田辺市、新宮市の計6会場、のべ64人の参加

講師: 消費生活相談員

(2) 和歌山県下の各市で消費者行政ヒアリング調査を行いました。

期 間:2011 年11月2日～11月25日

訪問者:消費者ネットワークわかやま世話人、わかやま市民生協 職員、組合員 のべ41名

消費者ネットワークわかやま世話人とわかやま市民生協組合員が合同で消費者行政担当窓口を訪問し、現状の課題や今後の問題点などについてヒアリング調査を行いました。

各行政ともにさまざまな取り組みを展開していましたが、ほとんどの市は相談窓口の周知、窓口体制の充実を今後の課題としてあげていました。ただ、今後、活性化基金が終了した段階で、果たして今の相談業務を減らさずにこのまま継続していけるかどうかやっと立ち上げた相談業務をどういう形で予算を捻出して継続していけるかが今の一番の課題だという声が多くありました。



御坊市訪問の様様



田辺市訪問の様様



有田市訪問の様様



海南市訪問の様様

	訪問日
和歌山市	11月 8日
海南市	11月 10日
橋本市	11月 25日
有田市	11月 10日
御坊市	11月 9日
田辺市	11月 24日
新宮市	11月 2日
紀の川市	11月 10日
岩出市	11月 10日

(3) 第2回 近畿ブロック 地方消費者グループ・フォーラムに参加しました。

消費者庁の呼びかけにより、地域の消費者行政(地方消費者行政)の充実を図るため、地域で活躍する消費者団体をはじめとして、多様な主体が消費生活に関する問題に関して認識を深め、各主体が交流・連携し、情報交換や意見交換を行う「交流の場」として開催されました。

消費者ネットワークわかやまからは「壁新聞交流会」と「第1分科会 ～消費者行政をすすめる連携～」に参加しました。

日時 :2012 年 2 月 7 日(火) 13:15～16:30

場所 :大阪コロナホテル(大阪市東淀川区西淡路 1-3-21)

テーマ:～連携を強めて消費者問題の解決へ～

参加人数:150名(主催者・消費者庁含む)

参加団体:67団体(主催者・消費者庁含む)

主催 消費者庁・地方消費者グループフォーラム実行委員会



全体会の様様

壁新聞交流会では「消費者行政ヒアリング調査」や「消費者講座」の様態を展示しました。
 また、午後からの分散会では「県内消費者行政調査をして見えてきた事」と題して、消費者ネットワークわかやまから和歌山県における消費者行政の問題点や今後の課題について発表をおこないました。



壁新聞交流会の様態



第1分科会の様態

内 容
壁新聞交流会
消費者庁の挨拶と報告 消費者庁 長官 福嶋 浩彦 氏
地方自治体からの報告 「地域で広げる 消費者の安心・安全」 橿原市消費生活センター 係長 北場 美加 氏 ぐらしの安心・安心サポーター “ざ・ひめみこ”
消費者団体からの活動報告 「消費者団体の力を生かした行政とのパートナーシップ型の活動」 NPO 法人コンシューマーズ京都 理事長 原 強 氏
分科会 第1分科会「消費者行政をすすめる連携」 ①「悪質商法徹底撃退事業の取組」 京都府消費生活安全センター ②「県と市町の信頼と協働による消費生活相談体制の構築について」 兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課 ③「県内消費者行政の調査をして見えたこと」 消費者ネットワークわかやま 第2分科会「高齢者の見守りをすすめる連携」 ①「ぐらしの安心推進員の啓発活動の支援」 特定非営利活動法人京都消費生活有資格者の会 ②「豊中市安心生活創造事業の成果と今後の課題」 豊中市健康福祉部地域福祉室 第3分科会「消費者教育をすすめる連携」 ①「高等学校における継続的消費者教育の実践例」 NPO 法人 C・キッズ・ネットワーク ②「大学生を対象とした消費者教育の活動」 大学生協阪神事業連合
全体会（分科会報告）

(4) その他の活動

- 和歌山大学で「新入生・保護者のための大学生生活スタートセミナー」にてミニ消費者講座を開催しました。

日時：2012年3月17日（土）、18日（日）、25日（土）12：00～12：15

場所：和歌山大学 基礎教育棟

講師：NPO法人 消費者サポートネット和歌山
 消費生活相談員



- 年5回の消費者ネットワークわかやまニュースを配信しました。
 （メルマガ配信 7・9・11・1・3月）